



# 東京学芸大学附属国際中等教育学校

## Tokyo Gakugei University International Secondary School

- ・ 世界に生きる学力と教養を身につけよう  
The school will help students to acquire global knowledge.
- ・ 多様な表現力やコミュニケーション能力を育もう  
The school will help students to strengthen communication skills.
- ・ 知・心・身体のバランスを大切にして成長し続けよう  
The school will help students to mature in knowledge, mind and body.
- ・ 多様性の意義を認識するとともに、寛容性・耐性（トレランス）を育もう  
The school will help students to appreciate diversity and foster acceptance, empathy, tolerance and respect.



### 基本情報

校長 雨宮 真一

副校長 後藤 貴裕

山根 正博

所在地 〒178-0063 東京都 練馬区 東大泉 5-22-1

連絡先 電話 03-5905-1326

Fax 03-5905-0317

Email [office@tguiss.jp](mailto:office@tguiss.jp)

ウェブサイト [www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp](http://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp)



- 2010年 国際バカロレア中等教育プログラム（MYP）認定校  
2011年 ユネスコスクール加盟校  
2014年 スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校  
2015年 スーパーグローバルハイスクール（SGH）指定校  
2015年 国際バカロレアディプロマプログラム（DP）認定校  
沿革は[こちら](#)

## 特徴



平成 19（2007）年に設立された東京学芸大学附属国際中等教育学校（TGUISS）は、6年制の中高一貫の学校です。そのルーツは、昭和 22（1947）年創立の東京第三師範学校附属中学校（後に「東京学芸大学附属大泉中学校」と改称）および昭和 49（1974）年創立の東京学芸大学附属高等学校大泉校舎にまで遡ります。両前身校とも我が国における海外帰国生徒教育研究・実践のパイオニア校であり、本校もその DNA を受け継いでいます。

TGUISS は、学習指導要領に基づく教育課程と2つの国際バカロレアプログラムを組み合わせ、教育課程を設定しています。生徒が急速にグローバル化する世界で生き、学び、働くために必要な知的、個人的、感情的、社会的スキルを身につけることを目的としています。

TGUISS は、日本の小学校からの生徒と海外 50 以上の国や地域に住んでいた帰国子女および外国籍生徒を受け入れ、多様な経験を持つ教職員が指導しています。毎年 4 月と 9 月に編入生を受け入れています。

詳細は[こちら](#)

◆ 育てたい生徒像

We seek to nurture students who can

- ・ 現代的な課題を読み解く力を持った生徒

critically analyze and problem-solve contemporary issues.

- ・ 知識とイメージを自分で再構成する力を持った生徒

We seek to nurture students who can make independent use of their learning to plan for practical uses.

- ・ 対話を通して人との関係を作り出す力を持った生徒

We seek to nurture students who can form profound interpersonal relationships through communication.

- ・ 異文化への寛容・耐性を持った生徒

We seek to nurture students who can be empathetic and open toward diverse cultures.

◆ 基本方針

[学校経営計画](#)

[IB 教育](#)

[言語方針](#) [評価方針](#) [学問的誠実性方針](#) [インクルージョンポリシー](#)

[部活動の方針](#) [いじめ防止基本方針](#) [性暴力・性犯罪防止に関わる指針/SNS ガイドライン](#) [校則](#)

[組織図](#) [災害対策](#)

◆ 研究

TGUISS は、東京学芸大学の附属学校として様々な教育研究を積み重ねてきており、その成果を公開していません。

令和 7（2025）年度研究テーマ

## 深い学びに根ざした概念的理解の形成

### —協働的に学ぶ生徒の姿と転移の萌芽—

本校では、生徒の協働的な学びを通じた概念的理解の形成と、それを土台とした他の文脈への転移の在り方を明らかにする研究に取り組んでいます。

本校は教科等に根ざした探究的な学びを通して、生徒が概念的理解を構築・深化させられるような授業開発に取り組んでいます。今年度は特に、生徒同士の対話や相互作用を基盤とした協働的な学びを通して、生徒が他者の視点と結びつけながら概念的理解を形成し、他の文脈へと転移させる兆しをつかむことを目指します。

授業研究会および協議会 2026 年 1 月 23 日（金）実施

[授業研究会二次案内](#)

◆ 進路指導

TGUISS では生徒の夢の実現をサポートできるよう 6 年間を通してキャリア教育と進学指導を行っています。生徒は教科の学習、「国際教養」、MYP などを通して多面的に進路について考える機会があります。

- (1) ジュニアインターンシップ

様々な事業所で職場体験を行っています。今年度は、「学術・芸術」「教育」「社会貢献」「専門職」「医療・薬科」「福祉・公共」「サービス」の7つのカテゴリーから、30を超える事業所にご協力いただきました。目標は、「ジュニアインターンシップを通して、『働くこと』についてのイメージを養う」ことです。

#### (2) キャリアエデュケーション・ワークショップ

多様な職種・業種の方々に講師として来校いただき、お話を伺っております。例年15講座前後を開設し、生徒は2講座を受講します。仕事の内容だけでなく、働くことの意味や将来の自分のキャリア形成について、中学生の今だからできることを考えた貴重な時間となっています。



#### (3) 校内大学模擬講義・国内大学説明会

主として国内の大学で実際に行われている授業や研究活動を体験します。例年15大学前後から先生方をお招きし、それぞれの講座に分かれて受講しています。日頃の学習内容を発展させた先進的な研究成果や、より専門分野に深化した興味深い話題に触れることが目的です。

#### (4) 海外大学説明会・海外大学出願支援

外部から講師・リクレーター、卒業生を招いて以下のような海外進学オリエンテーション・説明会を実施しています。これらの多くは高校2、3年生だけでなく、在校生全員を対象にしています。

### ◆SSH（スーパーサイエンスハイスクール）

国際バカロレアの教育プログラムに関する実践的研究の実績を踏まえ、実社会の状況を取り込んだ探究的な学びや活動を提案しています。さらに、その学びによってグローバルな視野と柔軟な科学的思考力を有し、社会に変革をもたらす科学技術人材を育成することを目的としています。

文科省指定スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の文理融合枠として第Ⅲ期目の指定を受けています。社会課題を教科横断的・文理融合的に理解し、探究活動を通して解決策を見出していくIBの学びと目標を同じくしています。

## 第Ⅲ期目 研究開発課題

### 国際バカロレア（IB）の教育原理を活かした文理融合教育による科学的コンピテンシーを備えた“Agents of Change”の育成

#### ◆目的

VUCA時代とも呼ばれる予測不能な国際社会の中で、現代的な諸課題に正対し、科学的知見および手法（技術）を活かした総合知によって挑戦的な変革をもたらすことのできる人材を育成する。

#### ◆目標

IBの教育原理や文理融合教育により、上記4（1）で示したような“Agents of Change”を育成する。“Agents of Change”に必要とされる科学的コンピテンシーとして、視座、スキル、Agencyの3つを以下のように定義し、これらを5（3）で示した研究開発の中で育む。

視座：現代的な諸課題を多面的・多角的に理解し、科学的に捉えるものの見方。また、科学とは何か、私たちは科学をどう扱っていくのかなど、科学そのものについての豊かな認識。

スキル：汎用的なIBのATL（Approaches to Learning）スキルのうち、特に一連の研究活動を遂行するために必要なもの。

Agency：新たな価値の創出を目指し、科学技術によって変革を起こす姿勢や態度。

上記1～3の科学的コンピテンシーを育まれた生徒に、主体的な研究を促進するプログラムを実施することにより、変革の担い手“Agents of Change”を育成する。

## ◆ 仮説

### ▲ 仮説 1

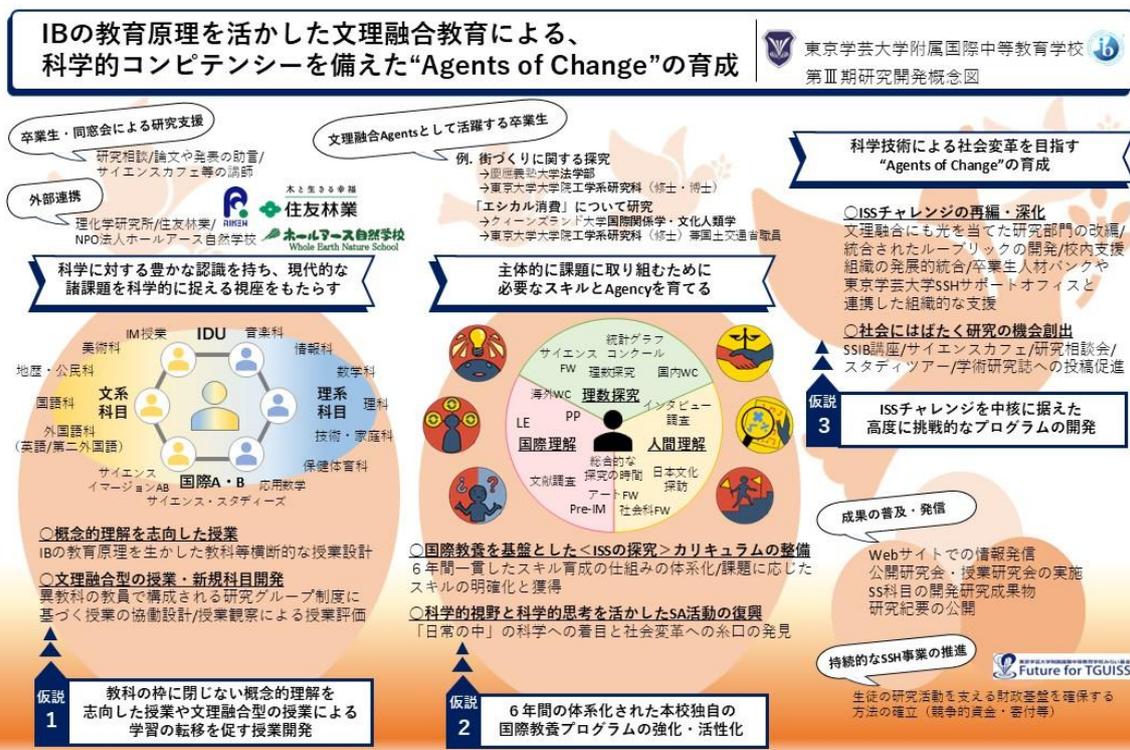
教科の枠に閉じない概念的理解を志向した授業や文理融合型の授業による学習の転移は、科学に対する豊かな認識を与え、現代的な諸課題を多面的・多角的に理解した上で科学的に捉える視座をもたらす。

### ▲ 仮説 2

6年間で体系化された「国際教養」のプログラムは、主体的に課題に取り組むために必要なスキルと Agency を育成する。

### ▲ 仮説 3

ISS チャレンジを中核に据えた発展的なプログラムは、科学的知見と手法を活かして挑戦的な変革を目指す Agents of Change を育てる。



\*ATLは、IB教育プログラムの中で「Approaches to learning」と呼ばれる「学習の方法」を指す。具体的には、コミュニケーション、社会性、自己管理、リサーチ、思考等の汎用的な能力・スキルのことである。  
\*IDUは、IBプログラムの中で、「Interdisciplinary Unit」と呼ばれる「学際的單元」を指す。具体的には、学問分野を関連づけ、新たな理解を構築したり、業社会の問題に取り組めるようにする学習である。

## 統計

| 教職員        |     |      |
|------------|-----|------|
| 管理職        |     | 3    |
| 教員         | 常勤  | 約 50 |
|            | 非常勤 | 約 40 |
| 司書         |     | 1    |
| スクールカウンセラー |     | 1    |
| 養護教諭       |     | 2    |

| 生徒           |       |
|--------------|-------|
| 総生徒数         | 生徒概要  |
| 各学年生徒数       | ～120  |
| 各クラス生徒数      | ～35   |
| MYP（1年生～4年生） | 約 470 |
| DP（5年生～6年生）  | 約 30  |

## カリキュラム

### 教育課程

- ◆ MYP (Middle Years Programme 中等教育プログラム) 1年生 (中学1年生) ~ 4年生 (高校1年生)  
全ての生徒が学習指導要領に基づく教育課程と国際バカロレア機構が定める統合カリキュラムを学んでいます。
- ◆ 一般コース 5年生 (高校2年生) ~ 6年生 (高校3年生)  
学習指導要領に基づく教育課程と国際バカロレアの目標と方法を組み合わせたプログラムです。STEM 専攻を目指す生徒は高度な科学と数学のクラスの選択が可能です。
- ◆ DP (Diploma Programme ディプロマプログラム) コース 5年生 (高校2年生) ~ 6年生 (高校3年生)  
IB DP の生徒は、以下のコースを履修します。

一般コースの生徒と DP コースの生徒は、キャンパスで多様な教員や生徒と接し、共に学び、共に統合された学校生活を送ります。

### 学校生活

#### ◆ 行事

| 1 学期  | 2 学期   | 3 学期  |
|---|--|---|
| アートフィールドワーク<br>スポーツフェスティバル<br>ジュニアインターンシップ (2年生)<br>9月編入学選抜検査 | DP アートフィールドワーク<br>教育実習<br>スクールフェスティバル<br>DP アート展覧会<br>富士ワークキャンプ (1年生)<br>沖縄ワークキャンプ (3年生)<br>日本文化探訪 (2年生)<br>タイ王国ワークキャンプ (5年生)<br>キャリアエデュケーションワークシ<br>ョップ | シーズンスポーツワークキャンプ (4<br>年生)<br>ISS チャレンジ研究発表会<br>パーソナルプロジェクトフェア<br>4月入学編入学選抜検査<br>東京学芸大学主催課題研究発表会 |

詳しくは[こちら](#)



スポーツフェスティバル



スクールフェスティバル



PP フェア



ロボット



マラソン大会



富士ワークキャンプ



沖縄ワークキャンプ



シーズンスポーツ



タイ王国ワークキャンプ

#### ◆ 生徒会

TGUISS では、前期課程生徒会と後期課程生徒会が、各課程執行部のリーダーシップのもと、通常委員会や特別委員会等とともに生徒会を運営しています。

詳しくは[こちら](#)



◆ 部活動



野球



テニス



バドミントン



バスケットボール



ダンス

| 運動部      | 文化部    |
|----------|--------|
| 硬式テニス    | 音楽     |
| バスケットボール | 美術     |
| 水泳       | 棋道     |
| ダンス      | 茶道     |
| サッカー     | 管弦楽    |
| バドミントン   | ボランティア |
| 陸上競技     | 科学     |
| 卓球       | 山岳     |
| 野球       |        |
| バレーボール   |        |

部活動の方針について詳しくは[こちら](#)



音楽



茶道



管弦楽



山岳研究



美術

◆ 学校施設



校舎はそれぞれC棟、W棟、N棟、S棟、E棟の5棟に分かれ、各学年のホームルーム教室や6つの科学実験室を始め、様々な特別教室があります。体育施設としては、第一体育館、第二体育館、武道場、ターフグラウンド、多目的コート、球技コートがあります。また、図書館を兼ねた総合メディアセンターはTGUISSの学びをつなぐ重要な役割を果たしています。

詳しくは[こちら](#)

International Education

◆ 留学

TGUISSでは、将来グローバルに活躍できる人材育成の観点から、後期課程における高校留学に取り組む生徒を応援しています。

◆ 国際交流

本校生徒がワークキャンプで交流する海外の高校生、海外で日本語を学んでいる高校生や大学生、研修のため来

日しているアジアの中高生、東南アジア青年の船事業参加の大学生や社会人と幅広い受け入れをしてきました。多くは半日程度学校に滞在し、本校のバディの生徒と行動を共にして日本の学校生活を体験し、昼休みや放課後に交流会を開いて互いの文化について学びます。訪問者の中高生は伝統的な踊りを披露してくれ、本校の生徒は学校に居ながらにしてエキゾチックで美しい踊りを鑑賞することができました。互いに英語を母語としないケースが多いのですが、文化的背景が異なっても、同年代の生徒同士、通じ合うものがあり、短い時間であつという間に友情をはぐくんでいます。

#### ◆ JSL



JSL は、日本語を母語としていない生徒を対象にしています。海外での経験が長いなど、日本語を使う上で不安がある生徒、日本語で授業を受けたことがない生徒(留学生を含む)は、他の生徒と同じクラスで授業を受けながら、放課後の時間を利用し、授業の理解を深めるための日本語学習サポートを受けることができます。本校教員、卒業生や教員志望の大学生が支援を担当するため、学校生活全般のサポートを受けることもでき、自立して学校生活を送ることができるようになるために良いステップを踏む場となっています。

#### ◆ FLS

海外での経験が長い、家庭での主要言語が日本語や英語でない生徒たちが、放課後にオンラインでネイティブの先生から母語・第 1 言語の支援を受ける、FLS (First Language Support) を実施中です。今までに韓国語、中国語、フランス語、ドイツ語、マレー語、スペイン語、ポルトガル語で実施してきました。登録している総勢 20 名程度の生徒たちが、少人数のグループで、日常会話や文法、小論文の書き方など様々な内容をいろいろなテーマで楽しく学んでいます。



#### ◆ 留学生の受け入れ



本校では海外からの留学生を受け入れており、アメリカ、インドネシア、スウェーデン、中国、トルコ、ニュージーランド、フィリピン、モンゴルなど様々な国や地域から高校生を迎えています。海外から本校に来た留学生達は、生活・学習経験を通じて日本を学びます。また、本校から海外に留学した生徒達は、海外から見た日本や日本の文化の面白いところ、留学先の国について紹介しています。それぞれの留学生が本校の生徒達へ海外に触れ学ぶ機会を与えています。

詳しくは[こちら](#)

#### 寄附

Tokyo Gakugei University International Secondary School の頭文字をとり、私たちは自分たちの学校を、親しみを込めて TGUISS と呼んでいます。皆様のご支援が TGUISS の未来を支えている - Future for TGUISS。私たちは皆様からの寄附を「みらい基金」と名付けました。

毎日の授業、生徒が企画・運営する様々な学校行事、生徒会や部活動をはじめとした多様な課外活動、施設の充実など、皆様のお気持ちが生徒の学校生活を支援します。皆様のお気持ちで学校生活の様々な場面をご支援いただけます。

詳しくは[こちら](#)



東京学芸大学附属国際中等教育学校みらい基金  
Future for TGUISS